

# 京都大学アカデミックデイ

2013/12/21

京都大学の研究者とあなたで  
語り合う日 出展報告

先端研究助成基金助成金(最先端研究開発支援プログラム / 平岡教授)

先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム / 原田准教授)

# 京都大学の研究者と あなたで語り合う日

京都大学はみなさまと、誰もが学問の楽しさ・魅力に気づき  
きっかけの場を作ります。

「どんな研究をしているの？」  
「研究するって、どんなこと？」  
「研究者って、どんな人？」

見て聞いて、ふと思ったことや気づいたこと、何でも聞かせて  
ください。

文学、医学、工学、理学、経済学、教育学、農学...さまざまな分野  
の研究者がお待ちしています。

2013年12月21日(土)10:00-17:00

京都大学百周年時計台記念館

<http://www.kura.kyoto-u.ac.jp/event/19>

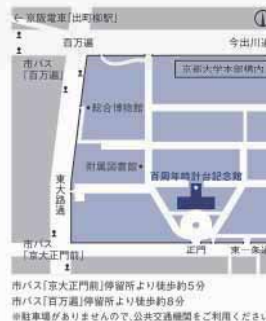
\*最新情報はWEBをご覧ください



参加費無料・申し込み不要

高校生でも大学生でも家族でもお一人でも大歓迎

ご来場お待ちしております



国民との科学・技術対話  
Kyoto University

× 2013/12/21(土)  
京都大学百周年時計台記念館にて、  
京都大学アカデミックデイが開催  
され、一般来場者に対し、京大の  
研究者他と対話することにより、  
科学技術等に興味をもって頂くた  
めの活動を実施しました。

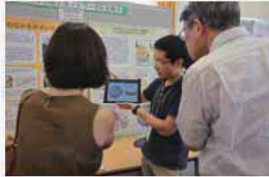
今回も2012年3月に続き、  
・平岡 (FIRST Program )  
・原田 (NEXT Program )  
の合同で出展。

- ①畳にコタツで膝詰め対話  
「分子画像×動体追尾=究極の放  
射線治療」  
10時30分~12時30分の2時間。
- ②研究者の本棚  
10時30分~17:00

京都大学アカデミックデイ2013  
**京都大学の研究者とあなたで語り合う日**

2013年12月21日(土) 10:00-17:00  
 京都大学百周年時計台記念館

50名以上の京都大学の研究者が集い、自ら研究についてお話しします。たくさんの分野の学問とその魅力を感じていただけるよう、いくつかの対話の形を用意しています。素朴な疑問や質問も大歓迎。ふと思ったことや気づいたことから、多くの出会いと発見のある対話が始まるはず。高校生でも(一年生でも大丈夫!)、大学生でも(入学前でも大丈夫!)、ご家族連れでも、お一人でも、この日はどうぞ京都大学にお越しください。



**畳にコタツで膝詰め対話** 9件

サイエンスカフェ

10:30-12:30 | 14:00-16:00

ひとつのテーブルを囲んで研究にまつわるあんな話、こんな話。お茶の間気で、ほっこりお話ししましょう。

出展予定  
 欲しい?」、  
 鉄触媒の  
 ふしぎ—  
 いろいろの



出展予定  
 は〜」、  
 太陽電池  
 の中で  
 究極の  
 「大のどろろの  
 「自然エネルギー  
 動くコトビエ  
 「簡単そうで  
 難しい?事前に  
 災害をイメージ  
 すること」、「  
 IPS細胞の「いま  
 と「これから」  
 」、「アフリカ  
 との協働による  
 JIKA-TABIの創  
 造」、「聖徳太  
 子ロボットを作  
 る」、「アメリ  
 カ実践哲学に学  
 ぶ「哲学と教  
 育」、「不便  
 益:不便の効用  
 を活かすシステ  
 ム論」、「火  
 星移住の人文  
 社会科学的検討  
 』ほか

**お茶を片手に**

トークライブ

それぞれのテーマに沿って

10:30-12:00 「宇宙、生命、精神の交差点」  
 熊谷誠哉(京都大学こころの未来研究センター上席客員学術  
 振興研究員/白眉センター 准教授/生命科学、生命工学) × 磯部洋

13:00-14:30 「ねむる?—自然・社会・文  
 重田真義(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科  
 研究科 講師/環境経済学) × 沼田英治(京都大学大学院理学

15:00-16:30 「社会をつくりかえる〜新し  
 山内裕(京都大学経営管理大学院 講師/組織論、エスノグラフィ、  
 生体医療工学、再生医学、リスクコミュニケーション) × 辰巳

**出展①**

『分子画像×追尾技術 = 究極の放射線治療』

《医学研究科放射線腫瘍学画像応用治療学 (平岡 真寛・原田 浩)》

京都大学の医学分野の2つの最新研究成果(分子イメージングによるがんの個別特性把握と、

動くがんを追尾しながら個別特性にあわせた照射を行う放射線治療)の融合による新しい放射線治療を紹介致します。

ひとこと…「がんの個性にあわせた最適治療を目指しています！」

**出展②**

以下2冊を研究者を志す「きっかけ」と紹介

◆「精神と物質 分子生物学はどこまで生命の謎を解けるか」立花隆 著 (原田先生ご推薦)

ISBN -10: 4167330032  
 ISBN -13: 978-4167330033

◆「喜嶋先生の静かな世界」森博嗣著 (飯塚先生ご推薦)

ISBN -10: 4062166364  
 ISBN -13: 978-4062166362

新企画  
**研究者の本棚**  
 10:00-17:00

「今から思えば、あれが今の仕事(研究、進路)を選ぶことになったきっかけだった本」  
 「対話の“著”にした本」  
 2つの質問からセレクトされた、京大研究者お勤めの本を紹介・展示します。  
 協力: 京都大学附属図書館、京都市立図書館

手にとってみませんか?

お問い合わせ 京都大学研究国際部「国民との科学・技術対話」担当  
 TEL: 075-753-2579 E-mail: kenkyu-taiwa@mail2.kyoto-u.ac.jp  
 最新情報はWEBをご覧ください [京都大学アカデミックデイ]で接

# 説明風景



2時間という短い時間でしたが、20人以上の方が来場されました。  
今回の年齢層は、中学生～年配の方と幅広く、関心の高さを感じました。

# ブース風景並びに参加者



後列左より横田、原田、金子  
前列左より、小野、川西、飯塚、諏訪（敬称略）  
今後もこのような活動に参加していきたいと思ひます。